



水上 務 議員



録画映像

除排雪体制の確保に関する件

問 除排雪ができる市内業者数及び令和6年度に契約した業者数は

答 市長 現在契約している16業者以外は把握していない

問 除排雪というのは、冬期間の通勤や通学、救急医療、防災といった生活全般において、非常に重要な事業の一つと捉えています。

しかしながら、この除排雪業務を担う建設業界では、担い手問題や長時間問題、あるいは公共事業の先細りなど、様々な課題を抱えています。

私自身、継続的な除排雪体制の確保に関して、とても危惧しているところです。

そこで、以下の件をお尋ねします。

(1) 除排雪することができる市内業者数及び令和6年度に契約した業者数をお知らせください。

(2) 本来は公明正大に競争入札で行うべきところであると考えます。

数年かけて、随意契約の諸条件をホー

ムページなどで公開し、多くの業者が道路事情に精通したことをもって、随意契約を行うことはやめるべきと考えますが、市長の見解をお尋ねします。

答(市長) (1) 令和6年度は16業者と契約していますが、長年、随意契約を行っており、契約業者以外に対して、市道などの除排雪業務が可能かの確認は行っていませんので、除排雪することができない業者数に関しては、現在契約している16業者以外は把握していません。

(2) 現在、随意契約を行っている理由として、除排雪は市民生活に直接影響のある業務であり、継続的に業者を特定し契約することにより、除雪車両及び人員の確保が可能であること、また、道路事情に精通し円滑な作業が実施されると認識していますので、現段階では、除排雪業務における随意契約は、継続してまいりたい。

道路補修に関する件

問 市内道路の二次改修(補修)が必要と考えるが

答 市長 路面状況、修繕状況や交通量などにより整備路線を決定し実施している

問 市内全般に道路の二次改修が必要な箇所が多く見受けられ、補修するべきと考えますが、お尋ねします。

答(市長) 道路の改修が必要な箇所があることは、本市としても認識しています。道路の改修については、道路の路面状況、部分修繕状況や交通量などにより整備路線を決定し、実施しており、今年度は6路線において舗装の改修を行っているところです。

また、来年度においては、9路線に関する舗装の改修費を予算計上しています。

職員の採用に関する件

問 技術職員等が不足していると聞くと採用状況は

答 市長 土木技術職は一定数を確保、建築技術職は民間企業との獲得競争が激しく、採用に至っていない

問 技術職員(建築、土木、下水道、水道)等が不足していると聞きますが、採用状況についてどのようなになっているのかお尋ねします。

答(市長) 近年、公務員の成り手不足は深刻な課題となっており、国・地方ともに受験者数の減少傾向が続いているところ

です。

本市独自の対策としては、特に技術職の確保が喫緊の課題であることから、令和元年度より、函館工業高等専門学校を対象とした、推薦枠による採用試験を実施するとともに、今年度からは、公務員試験対策が不要で、全国各地のテストセンターで受験可能なSPI試験を土木・建築技術職について導入したところです。

その結果、土木技術職は、一定数の採用を確保できていますが、年齢構成に偏りのある状態は解消されておらず、また、建築技術職については、民間企業との獲得競争が激しく、採用に至っていないことから、市としては、採用試験の通年化のほか、資格を有する官民の退職職員を会計年度任用職員として活用できないかなど、技術職の確保に向けた対策を進めてまいりたい。



現場で働く土木技術職員

